



～提案・要望事項～

- **大和川が引き起こす洪水から都市基盤を守るために、適切な河道管理を推進し、さらなる河川改修に取り組むこと。**

【課題】

- 大和川が引き起こす洪水から都市基盤を守るために、河口部において、土砂動態をモニタリングしながら、流下能力の向上及び安定的な確保に資する河川改修を実施するとともに、最終目標である200年に一度の降雨に対する河川整備を行うこと。

◆大和川の河川改修（河口部掘削）

当初の目標: 戦後最大の洪水(昭和57年8月)を起こした流量でも洪水を発生させない。

これまでの事業経過

大和川河川事務所が、平成11年度より河口から掘削を実施。
(平成11～25年度で累計約200万m³を掘削・平成25年度で完了)

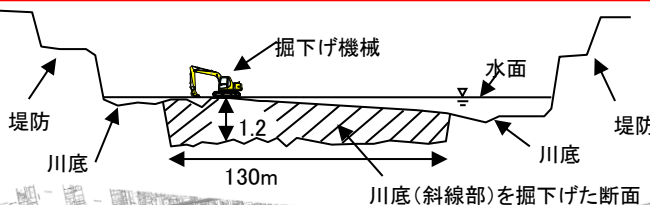
近年、気候変動などの影響により大規模自然災害が頻繁に発生する中、令和元年10月には、台風19号による東日本を中心とした観測史上最大の豪雨により、千曲川等多数の河川が氾濫した。このような状況の下、大和川流域においても平成29年の台風21号では、遠里小野、藤井、王寺及び河合の水位観測所で計画高水位を超過し、大阪府柏原市、奈良県王寺町、三郷町で河川の溢水による家屋浸水等が発生。

今後も大和川が引き起こす洪水から都市基盤を守るためには、引き続き適切な河道管理を推進し、さらなる河川改修に取り組むことが必要。

最終目標: 200年に一度の降雨に対応する整備。

治水安全度が向上し、市民の安全・安心が確保され、良好なまちづくりや沿岸部への企業の進出などの展開が期待される。

◆大和川の断面（阪堺大橋 下流側）



◆河口部掘削実施状況



【本件に関する連絡先】

建設局 河川水路課長 小島 一剛 (TEL:072-228-7418)